

## 図書館員のひみつの本棚 第118回

今年の干支、「申 サル」に関する本をご紹介します。

### 『イーダ 美しい化石になった小さなサルのものがたり』

ヨルン・フルム トルシュタイン・ヘレヴェ／文

エステル・ヴァン・フルセン／絵 遠藤 ゆかり／訳 河野 礼子／監修

創元社 2015年 1620円

#### <お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 小低学年☆☆☆ 小中学年★☆☆ 小高学年★★★ 中学生★☆☆

高校☆☆☆ 一般☆☆☆ (★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

#### <本の紹介>

ジャングルでさるの女の子が生まれました。イーダです。イーダはお母さんと群の仲間と木の上で生活していましたが、ある時ジャンプに失敗して地面に落ち、右腕を怪我してしまいます。怪我のせいで木に登れなくなったイーダは地上で生活していく方法を身に付けていきます。そしてある日、湖で水を飲もうとしたイーダは湖底から湧き上がってきた有毒ガスを吸い込んでしまいます。死んでしまったイーダの体はそのまま湖の底にまっさかさまに落ち、長い間、なんと4700万年もの間そのままの姿勢で眠っていたのです。

そして、ある日イーダは掘り出されます。化石として。

この本の前半はこの物語が美しい挿絵で描かれています。後半は実在するサルの化石「イーダ」から科学者たちがどのようにしてイーダの物語を読み取ったのかを、たかさんの写真や図版、またはクイズなどでわかりやすく説明してくれます。

#### <子どもに手渡す時のポイント>

前半がイーダの物語、後半は考古学についてのわかりやすい説明となっている本です。前半の物語が魅力的なので、考古学に興味のない子でもすんなり後半のページへと入ることができます。また、全体を通して挿絵が美しく、見ているだけでも楽しむことができます。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

総合図書館 重村さやか